

2022年10月17日

Information News 第236号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2022年10月8日～2022年10月14日の期間に発表された、食品に関連する情報を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

バックナンバーは、弊社ホームページにも掲載しております。
<https://food-analab.jp/news/index.html#back-number>

★★★★★分析テクノからのお知らせ★★★★★
このたび、従来から多くのご依頼・お問い合わせをいただいている食物アレルギー検査とコンサルティングについて、報告書例、実施例、技術情報を掲載しました。

↓食物アレルギー検査のページはこちらです↓
<https://food-analab.jp/service/allergens.html>
↓コンサルティングのページはこちらです↓
<https://food-analab.jp/service/consulting.html>

試験分析の目的や活用例について、ご参考になれば幸いです。今後、他の分析項目についても順次報告書例・実施例・技術情報を掲載して参ります。

★★★★★

<厚生労働省>

・薬生食輸発1014第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（中国産食品のサイクラミン酸に係る検査命令対象製造者の追加）
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001001620.pdf>

・薬生食輸発1012第2号「令和4年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（韓国産食用アカガイ）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000999887.pdf>

・薬生食輸発1012第3号「令和4年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（ベトナム産ライムの葉のパクロトラゾール及びプロピコナゾール）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000999926.pdf>

⇒以下の畜水農産食品及びその加工品について、検査頻度が変更されています。
韓国産食用アカガイの腸炎ビブリオ⇒通常⇒30%（強化、令和4年10月31日まで）
ベトナム産ライムの葉の農薬パクロトラゾール及びプロピコナゾール：通常⇒30%（強化）

・薬生食輸発1012第1号「韓国産食用アカガイの取扱いについて」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000999888.pdf>

⇒韓国産食用アカガイから腸炎ビブリオが検出されています。

・薬生食監発1012第1号「スペインから輸入される牛肉等の取扱いについて」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000999998.pdf>

・薬生食監発1012第2号「スペインから輸入されるめん羊肉等の取扱いについて」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001000000.pdf>

・生食発1012第2号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」の一部改正について」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001000428.pdf>

・薬生食監発1013第1号「スイスから輸入される牛肉等の取扱いについて」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001000896.pdf>

・事務連絡「アルゼンチン産乳及び乳製品の衛生証明書の取扱いについて」
<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001000897.pdf>

・「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（農薬（アシノナピル等8品目）の残留基準の改正）に関する御意見の募集について
<https://public-comment.e-gov.jp/servlet/CLASSNAME=PCMMSTDETAIL?id=495220190&Mode=0>

⇒食品中の以下の農薬8品目について、残留基準が改正される見込みです。

(1)農薬アシノナピル (2)農薬グルホシネート(3)農薬トリフロキシストロビン (4)農薬フェナリモル(5)農薬フェンピラザミン (6)農薬フルキサメタミド(7)農薬フロニカミド (8)農薬ペンチオピラド

<農林水産省>

・「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES. 東北」を開催！

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/221012.html>

⇒期間：令和4年10月19日（水曜日）～11月18日（金曜日）

・「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES.東京2022」を開催！

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/221014.html>

⇒10月29日（土曜日）・30日（日曜日）六本木ヒルズアリーナにて

<消費者庁>

・「第102回コーデックス連絡協議会」の開催について

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/030462/>

⇒日時:令和4年11月2日(水曜日) 14時00分～16時25分

・食品表示基準の一部改正案に関する意見募集について

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/030517/>

⇒「くるみ」が食物アレルギーの推奨表示品目から特定原材料として追加される見込みです。

<厚生労働省 食品衛生申請等システム掲載の回収情報>

アレルゲン 13件

消費/賞味期限の誤記/欠落 7件

微生物 3件

粉チーズ：カビ発生

もなか：カビ発生

にんにく：カビ発生

添加物 2件

ういろう：ソルビン酸カリウム

しそ生姜：ソルビン酸カリウム

異物 1件

鶏だんご：樹脂片

販売/保管温度 1件

さといも含め煮など：10℃以下⇒常温

農薬・動物用医薬品 1件

ベトナム産ライムの葉：農薬パクロブトラゾールとプロピコナゾール

その他 5件

ソーセージ：原材料表示不足

ちゃんぽん：原材料の規格不備

マグカップのふた：輸入通関時の検査不備

加工肉製品：表示欠落

発泡性飲料：表示欠落

計33件

★★弊社HPの分析項目アクセスランキング★★★★★★★★★★★★★★★★★★

1位

2位

3位

4位

5位

10/9-	官能／物性	異物	残農／動薬	アレルギー	栄養／機能
10/2-	官能／物性	異物	残農／動薬	アレルギー	栄養／機能
9/25-	官能／物性	異物	残農／動薬	アレルギー	アレルギー

↓食物アレルギー検査のページはこちらです↓

<https://food-analab.jp/service/allergens.html>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に配信しております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止致します。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
インフォメーションニュース担当
Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
[TEL:043-237-5676](tel:043-237-5676) [FAX:043-237-2912](tel:043-237-2912)
[URL:https://food-analab.jp/](https://food-analab.jp/)

